

社会保障・税一体改革が目指す医療・介護のサービス提供体制 ～中重度の要介護者へのサービスの変化～

- 在宅サービス：重度者の在宅生活を支えられるサービスが充実。限度額に対する利用割合が増加。
- 居住系サービス：認知症グループホームを中心に増加。
- 施設サービス：重度者への重点化が進むとともに、ユニット化によりケア内容と居住環境が向上。

	2011年度	2025年度 (現状投影)	2025年度 (改革シナリオ)
要介護4、5	<u>111万人</u>	<u>179万人</u>	<u>187万人</u> (うち14万人は医療からの移行)
うち在宅	47万人(42%) ＜平均限度額利用割合59%＞	66万人(37%) ＜同左＞	77万人(41%) ＜平均限度額利用割合 85%＞
うち居住系	8万人(7%)	14万人(8%)	16万人(9%)
うち施設	56万人(50%) ＜ユニット化率15%＞	99万人(55%) ＜ユニット化率16%＞	94万人(50%) ＜ユニット化率61%＞

要介護3	<u>68万人</u>	<u>106万人</u>	<u>103万人</u>
うち在宅	40万人(58%) ＜平均限度額利用割合54%＞	57万人(54%) ＜同左＞	58万人(56%) ＜平均限度額利用割合 81%＞
うち居住系	8万人(11%)	13万人(12%)	16万人(15%)
うち施設	21万人(31%) ＜ユニット化率15%＞	37万人(34%) ＜ユニット化率16%＞	30万人(29%) ＜ユニット化率61%＞

要介護1、2	<u>158万人</u>	<u>236万人</u>	<u>229万人</u>
うち在宅	130万人(82%) ＜平均限度額利用割合47%＞	188万人(80%) ＜同左＞	196万人(86%) ＜平均限度額利用割合 77%＞
うち居住系	13万人(8%)	21万人(9%)	26万人(11%)
うち施設	15万人(9%) ＜ユニット化率15%＞	26万人(11%) ＜ユニット化率16%＞	7万人(3%) ＜ユニット化率61%＞

要支援1、2	<u>90万人</u>	<u>126万人</u>	<u>122万人</u>
うち在宅	87万人(97%) ＜平均限度額利用割合43%＞	122万人(97%) ＜同左＞	119万人(97%) ＜平均限度額利用割合 57%＞
うち居住系	2万人(3%)	4万人(3%)	4万人(3%)